



晩秋の
風物詩

～春の笑顔に出会うため～

ネモフィラの種まきが始まります

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、11月18日（金）からネモフィラの種まき作業が始まる予定です。「みはらしの丘」の約4.2haに手作業で種をまく様子は、絵画の「種まく人」を思い起こさせる当公園の晩秋の風物詩です。春の笑顔に出会うための一歩を踏み出し、これから約5ヶ月かけて、花と空と海の青が溶け合う唯一無二の風景を創り上げていきます。

種まきの様子 撮影/2021年11月26日



ネモフィラ見頃の様子 撮影/2022年4月28日



◆種まきは全て手作業

ネモフィラの種まきは11月18日（金）から、延べ80人程で約2週間かけて行います。例年この時期に種をまき、寒さが厳しくなる前の12月初旬までに完了することを目指します。コキアを抜き取り、耕うんした「みはらしの丘」に目印となるラインを20cm間隔に引き、1粒1mmほどの種130L分を全て手作業でまきます。春に美しく咲きそろうように、日当たりなども考慮しながら種をまくエリアの順序にも配慮しています。

【ネモフィラ】 ■見頃：4月中旬～5月上旬 ■品種数：1品種（インシグニスブルー） ■本数：約530万本
■場所：みはらしの丘 ■植栽面積：約4.2ha



ネモフィラの種

◆保温・霜よけシートの設置も全て手作業

ネモフィラは種まき後、10日から2週間ほどで芽を出し始めます。発芽を確認した後、例年12月中旬より冬の低温から株を守るための“霜よけシート”を設置します。霜よけシートは約2m幅の帯状の白い不織布。延べ150人程で約2週間かけて、隣同士重ね合わせながら、ピンで固定していきます。丘一面が霜よけシートで隙間なく覆いつくされた様子は、白銀のゲレンデのように見え、当公園の冬景色のひとつとしてお楽しみいただけます。



霜よけシート設置の様子
(2021年12月22日撮影)

Information

みはらしの丘では、11/8(火)にコキアの抜き取りを行いました。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・星・渡邊
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4